

なないろ

nanaïro

なないろの喜びと笑顔を
みなさまにお届けします。

祝

vol.1



photo:山崎 英二

今号の1枚 **デイサービス虹のひろば(東大野)で大運動会 2016.11**

選手宣誓で「やがぐらない(津軽弁:うるさく奪い合わない)」と言いながら、皆さん勝ちにこだわり、熱く真剣に参加されていました。

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は格別のご厚情を賜り、誠にありがとうございました。皆様のおかげで今年も新しい年を迎えることができ、社会福祉法人虹の機関紙が創刊されることになりました。

青森保健生活協同組合には機関紙「くらしとからだ」、略称「くから」が組合員・病院・職員間の情報交換と心をつなぐ媒体として大きな役割を果たしています。薬局関係では健康企画にも同様の広報「あけぼの」があり、薬剤処方とされる薬の袋に同包され利用者・患者と薬局とを結ぶかけ橋となっておりま。

社会福祉法人虹にはまだそのような機関紙が発行されていませんでしたが、今回ようやく「なないろ」が発行されることになりました。そこまで「虹」が発展してきたということでしょう。「なないろ」とはもろもろ「七色の虹」に由来する名前、赤、橙、黄、緑、青、藍、紫の七色を意味します。我が社会福祉法人虹に相応しい名前

機関紙名となりました。

機関紙「なないろ」は特別大きな役割があるように思われます。その訳は「虹」の利用者の対象としては高齢者と精神障害者に大別出来ませんが、内容としてはショートステイやデイサービス、寮やグループホームなどの施設運営、更に訪問介護や生活指導、相談などの生活支援その他多岐に渡っており職場地域もアチラコチラに別れています。そしてそれぞれの独自性専門性も高くなっております。

そのために日常に流されていたのでは同じ「虹」内部のことでも「虹」としての一体感を得るには困難を抱えるという要素を持つています。機関紙「なないろ」は利用者、施設、職員間の情報交換の媒体となるだけでなく、多岐に渡る職種間、各部署間の情報交換として、更に心をつなぐかけ橋として大きな役割を果たすであろうことが期待されます。

機関紙「なないろ」創刊を機会に、社会福祉法人虹が内容としても益々発展して行くことを予感しております。

Congratulations on marriage and new baby !!

第一子！
慣れぬ育児に奮闘中

はお
奈木
あち
ちゃん



デイサービス虹のひろば
相談員／寺坂 肇

new baby

子どもが生まれても釣りバカはやめられず、子どももかわいいで寝る間を借しんで釣りをしています。あおもり協立病院でいろいろ勉強中！頑張ります！

ショートステイ虹の郷
介護福祉士／浪打 薫

new baby

高齢出産で不安もありましたが、健康にすくすくと育っています。3人の兄や周りの人たちにかわいがられ笑顔いっぱいです。一つ一つの幸せを大事に過ごしています。

生後6ヶ月！
そろそろ離乳食～

雅久くん
がく





[七草粥]

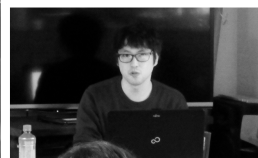
ななくさがゆ



1月7日に食べる七草がゆの習慣は、江戸時代に広まったとされていますが、七草はもともと邪気を払うと言い伝えられてきました。その他に野菜を食べる機会が少なく、暴飲暴食しがちになる年末年始を過ごした方に、胃を休め不足しがちな栄養素を摂るために行われる意味もあるそうです。

年の初めに、無病息災や豊かな年でもあることを祈願する七草がゆで、どうか皆様が良い1年でありますように願っております。

ショートステイ虹の郷
栄養士/工藤 由希



虹のひろば新城 \ ケアマネ向け / 学習会

2016年11月22日、虹のひろば新城で初めてケアマネジャー向け学習会を開催し13名の参加がありました。

生協さくら病院の認知症看護認定看護師 成田繁人さんをお招きし、「認知症の方々の生活を支える」というテーマのもと、認知症の基礎知識、認知症の方やそのご家族の支援のあり方を考えるとともに、地域ケア向上を目指そうという講義をして頂きました。

参加者からは大変活発な質疑があり、その様子を見て、日々ケアマネジャーの皆様がその対応に奮闘しているのを痛感しました。また、虹のひろば新城では1日の利用が少人数なので認知症利用者様が適している環境であることと、快適に過ごせるよう工夫をしていることなどを報告しました。

今後も利用者様一人ひとりを大事にした個別ケアをスタッフ一同取り組んで参りますのでよろしくお願い致します。 デイサービス虹のひろば新城 所長/中村 真優美

結婚&出産 おめでとう!! Congratulations on marriage and new baby !!

新婚ほやほやです!



ショートステイ虹の郷
介護福祉士/滝本 翔子

marriage

2016年3月22日に入籍し、同年11月26日に、無事結婚式を挙げる事ができました。両親だけでなく、上司、同僚へも感謝の気持ちで一杯です。

ショートステイ虹の郷
介護福祉士/対馬 周也

marriage and new baby

まだまだ未熟な所も多く職場の先輩方には御世話になっていますが努力を怠らず、精一杯利用者様の為、職場の為に過ごしていきます。

子供が生まれて
家族だけの結婚式!



れな
玲奈ちゃん

困ったら **助けて** と言える**憲法25条**

2016年10月29日(土)青森市で青森県高齢者大会の記念講演としてNHKスペシャルで放映された「老人漂流社会」「無縁社会」「孤立する認知症高齢者」を手がけてきたNHKチーフプロデューサー板垣淑子さんのお話を聞く機会がありました。

血縁・地域の縁、社会(仕事)の縁が定年退職と同時に切れ、その後、社会との接点を全く持たずに、独り暮らしをしている高齢者が激増しています。「誰にも迷惑はかけられない」世代です。夫の介護を何とかしたいと5年、10年…。その結果疲れ切ってしまう、悲惨な結末を迎えるケースが少なくありません。板垣さんは「国の政策にも問題がある」と仰っておられ



ました。

福祉関係者には制度の機能不全によって、制度の隙間に落ちてしまった独り暮らしの高齢者の受け皿となり、隙間を埋めてあげられるように「優しさとおせっかい、あきらめない」を継続して欲しいと思っています。

困ったら「助けて」と当たり前と言える、憲法25条(生存権)はそれを保障しています。

社会福祉法人 虹 本部 事務局長/山崎 繁喜

ほくポッキー。
犬年齢は14歳だけど
人間に例えると72歳!



私の健康法!

我が家には14歳になる愛犬ポッキーが同居しており、毎朝5時30分に散歩に出かける事が私の日課となっています。油川の海岸沿いをゆっくりと散歩しますが、師走時期は、安方のベイブリッジ付近はオレンジ色のライトアップが一面に輝いています。海面全体を見渡すと、ライトを付けた握りこぶし大の漁船が数隻ぽつぽつと見え、遠くからエンジンの音が「ドドド」と聞えてきて漁師さんの勇ましさを

no.1 職員休憩室。

痛感できます。ヤマセ(東風)が吹くと頬つぺたがひりひりし、西風が吹くと飛ばされそうになったりします。

そんな中でも愛犬ポッキーは高齢にもかかわらず、ぐいぐいと私を引っ張って歩きます。どんなに海が荒れても必ず穏やかな朝は来、運が良ければ、煌々と輝く朝日を目にする時もあります。私は、愛犬ポッキーと自然の朝からエネルギーを頂き毎日のパワーにして、1日の仕事と生活を充実させています。

社会福祉法人 虹 本部
介護部長/阿部 雪子



●ご意見・ご要望をお待ちしております。

この機関誌に関する、ご意見・ご要望、読者様の俳句・川柳・その他ご趣味などがございましたら、ぜひ下記までお寄せ下さい。



なないろ vol.1 2017年1月発行(次回発行予定 2017年3月) 発行部数/1,000枚 発行責任者/山崎繁喜

発行元/社会福祉法人「虹」 〒030-0131 青森県青森市問屋町1丁目15-10 TEL 017(738)1133 <http://nijiweb.net/>

配布先/社会福祉法人 虹 本部・テイスサービス虹のひろば・テイスサービス虹のひろば新城・ショートステイ虹の郷・ヘルパーステーションはるかぜ
・居宅介護支援事業所 野いちご・地域活動支援センター八甲・自立訓練所 ほのぼの寮・グループホームあおぞら